



発行：泉大津市議会／編集：広報広聴委員会／連絡先：議会事務局  
〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町9番12号 TEL 0725-33-1131 内線 2508 FAX 0725-33-3510  
HPアドレス <https://izumiotsu.gsl-service.net/>



「議場見学」 撮影場所 本会議場（市役所5階）

市内小学校3年生を対象に実施されている市役所庁舎見学の5階本会議場での様子です。議席等に座って議員から説明を受け、元気に手を挙げてマイクを使って質問していました。

## 令和7年第2回定例会が6月18日から27日の間で開催されました。

一般質問要旨、議案審議の結果等を掲載しています。

### 目次

- 市政を問う 2～8 P  
一般質問要旨  
\*掲載の順序は、発言順としています。
- 議会の話題 9 P
- 特集 10 P  
・ 政務活動費の公表
- 市議会で行われたこと  
・ 第2回定例会で決めたこと 11 P  
・ 議案の議決結果 12 P

### 市議会の予定

●開催時間は、いずれも午前10時を予定しています。

開催日	会議名
9月10日(水)	市議会本会議(1日目)「一般質問、議案審議」
9月11日(木)	市議会本会議(2日目)「一般質問、議案審議」
9月12日(金)	市議会本会議(予備日)
9月16日(火)～	常任委員会(付託がある場合)・決算審査特別委員会
9月29日(月)	市議会本会議(最終日)「委員長報告、議案審議」

★上記の日程は変更される場合があります。  
詳しくは議会事務局(0725-33-1131 内線 2508)までお問い合わせください。



(写真：大阪経済大学写真部提供)

# 市 政 を 問 う

令和7年  
第2回定例会

## 一般質問

第2回定例会（6月定例会）では、13人の議員が6月18日、19日に一般質問を行いました。各議員が行った質問から要約して掲載しています。各議員の二次元コードから録画放送をご覧ください。



**朝比奈大貴**  
(市民クラブ)



### 本市財政状況の現状と行政による各種生活応援について

**問** 本市の令和7年度予算に占める自主財源と依存財源の割合と市税徴収率を示せ。

**答** 自主財源 45.0%、依存財源 55.0%、令和5年度現年度課税分の市税徴収率は99.0%である。

**問** 市税徴収率向上の取り組みは。

**答** eLTAX や e-Tax 等の電子申告の活用、課税・納税事務の定型的かつ定量的業務の一部について専門知識を有する民間事業者への委託や SMS による納付勧奨を行っている。

**意見** 民間委託により、市税徴収率が向上した自治体もある。今後も徴収率向上に努めるよう願う。

**問** 兵庫県明石市や加西市では、子ども医療費、給食費、保育料の無償化、おむつ等育児用品の支援などの子育て支援政策を展開している。これらの政策を本市で行った場合の財政負担を示せ。

**答** 令和6年度の実績で算出した1年間の財政負担見込み額は、子ども医療費の無償化は約6,100万円、保育所、認定こども園および幼稚園の給食費の無償化は約7,000万円、0から2歳児における保育料の無償化は約1億9,200万円、乳児1人当たり月額3,000円相当の子育て用品等の支援を行った場合は1,350万円となる。

また、小・中学校の給食費を無償化した場合の財政負担見込み額は、小学校で約1億5,000万円、中学校で約1億円となる。

**要望** 約5.9億円の予算が必要と認識する。すべての無償化を要望するのではなく、財源が許される可能な範囲での負担軽減の実現を要望する。

**問** 給付型奨学金制度の支給条件にボランティア、地域イベントなどの活動参加を据えることで、地域コミュニティの強化、学生の経済的課題の解決につながると考えるが見解は。

**答** 移住・定住の促進や関係人口の増加につながり、地域の活性化にも寄与すると認識しているが、要件設定については慎重に判断する必要がある。





村岡 均  
(公明党)



## 消費者教育について

**問** 悪質商法による被害や振り込め詐欺などの消費生活に関する社会問題が深刻化する中、主体的に判断し適切な行動を行うための消費者教育や啓発活動にどのように取り組んでいるのか。

**答** 市民に「自分ごと」として感じてもらえるように、広報紙では「こちら消費生活センター」というコーナーを毎月掲載し、実際の相談事例をもとに手口や対応策を紹介したり、FM いずみおおつでも月1回、最近の相談内容や注意点を紹介している。また、高齢者を狙った詐欺や悪質商法が絶えない中、令和6年度には「市民消費者講座」を開催した。成年年齢の引き下げを受け、選挙管理委員会と連携し、18歳になる人にリーフレットを配布し、若年層への対応も強化している。

**問** 消費生活センターでの過去5年間の相談件数の推移と主な相談内容を示せ。

**答** 過去5年間の相談件数は、令和2年度が427件、3年度が381件、4年度が469件、5年度が403件、6年度が383件である。相談内容で多いのはインターネット通販のトラブルである。

**問** 現在の取り組みの課題について示せ。

**答** 消費者トラブルを「自分ごと」として捉えてもらい、意識を変え、日々の行動に生かしてもらうことが何よりも大切であり、この意識の変化と行動変容こそが、最も難しい課題である。

**問** 今後、さらに消費者教育を充実させるための取り組みについて示せ。

**答** 消費生活センターの役割や利用方法についても、より身近に感じてもらえるように周知啓発に取り組み、市民が安心して暮らせる地域社会の実現に向け、効果的な取り組みを進める。

**要望** 消費者を取り巻く環境変化のスピードは著しく増しており、それらに対応した消費者教育が求められている。今後とも、消費者教育を充実させる取り組みを進めるようお願いする。

◎その他の質問

・通学路の安全対策について



西條 徹  
(大阪維新の会)



## 市内事業者の人手不足について

**問** 市内介護事業者の人手不足について把握している内容を示せ。

**答(保険福祉部長)** 人材確保に苦慮されており、人材紹介業やハローワーク、人材派遣等を活用して人材確保に努めていると聞いている。

**問** 市としてどう支援しているのか。

**答** 全国でもまれな本市独自の取り組みとなるケアマネジャーの資格取得や更新の研修費用助成制度を今年度より導入した。

**要望** さらなる支援として、スポットバイト事業者との連携協定は、正社員登用にもつながり有効であるため、協定締結を要望する。

## 新商品・新サービス開発について

**問** 新商品開発の支援の取り組みについて示せ。

**答** 産業振興対策事業補助金を創設し支援してお

り、毛布ブランディングプロジェクトも開始した。

**問** 毛布ブランディングプロジェクトの内容は。

**答** 歴史的背景のある牛毛製毛布のオマージュ製品や北九州の小倉織と連携した新製品を開発中。

**問** 経営課題解決支援として初めて実施する副業プロフェッショナル人材活用支援事業の内容は。

**答** 市内中小企業の新商品開発や販路開拓、業務改善等の課題解決のため、ヒアリングで経営課題を整理し、必要人材の分析、募集、採用を行い、プロジェクトの進捗を管理し、伴走支援するもの。

**要望** 別の政策として、地域資源活用による課題解決事業を補助する仕組みで事業者に大きな補助がある総務省のローカル10,000プロジェクトの活用を要望する。

## 関係人口創出について

**問** 関係人口の創出について見解を示せ。

**答** 関係人口の増が移住促進につながるため、持続的な行政運営を行ううえで非常に重要だと認識。

**要望** バイエリアを活用したワーケーションやコワーキングスペースの推進を要望する。



**丸山 直土**  
(公明党)



## 自転車のマナー向上について

**問** 近年全国で自転車マナーへの関心が高まっており、来年の4月からは自転車の交通違反に反則金が課せられるようになる。本市の小・中・高校生の自転車事故の年間発生件数と事故が集中している時間帯の直近3年間の推移を示せ。

**答(都市政策部長)** 事故発生件数は小・中・高校生の合計で、令和4年度22件、令和5年度23件、令和6年度17件で、時間は毎年度17時前後に多く発生している。

**問** この数字は決して少ない数字ではない。本市では、小学校全校で1年生と4年生を対象に交通安全教室を行っているが、学年を限定している理由と市内中学校の交通安全教室の実施状況を示せ。

**答** 交通安全教室は、就学前施設、小学1・4年生、中学1年生を対象に実施しており、対象年代の考え方は、行動範囲の広がりや自転車利用の増

加等、交通手段等が変わる節目に実施している。中学校の実施状況は、昨年度、誠風・東陽中学校1年生に対して警察署の協力により実施した。

**問** それぞれの交通安全教室の内容の詳細を示せ。

**答** 幼稚園等は横断歩道の渡り方の実践指導、警察官による講話やDVDを用いたの教室を実施。小学生はグラウンドに交差点のコースを設定し、自転車の横断歩道の渡り方や一時停止、左側通行等の実践指導を実施。中学生は自転車等のルールやマナー、公道におけるスケートボードについて警察官による講話を実施した。

**要望** 自転車の交通違反に対する反則金の対象者が16歳以上で、特に中学校3年生は次の年から反則金の対象者となる。私も協力するので、警察署や地域の人たちとも協力し合い、交通安全教室を小学1・3・5年生、中学1・3年生と小・中学校で計5回、2年ごとの開催となるよう前向きな検討を要望する。

◎その他の質問  
・泉大津市の都市計画公園の整備と今後の計画について



**松本 真麗**  
(日本共産党)



## 带状疱疹ワクチンの市からの助成について

**問** 带状疱疹ワクチンに対する本市と近隣他市の助成状況について示せ。

**答** 本市の自己負担額は、令和7年度は接種料のうち組み換えワクチン1回当たり1万8,150円、生ワクチン4,950円となっており、和泉市、高石市、忠岡町の自己負担額は、いずれも組み換えワクチン1回当たり1万1,000円、生ワクチン4,500円となっている。

**問** 本市医師会の意見は。

**答** 組み換えワクチンは自己負担額が高額なため市民が接種できないのではないかという意見があった。



**意見** 経済格差がワクチン接種の妨げになってはならないと考える。高額を理由にワクチン接種を諦める市民がいないようにしてほしい。

## 委託会社によるメールの目的外利用について

**問** 本市の健康づくり事業などを業務委託している株式会社トップフェローズが、事業参加者に本来の目的とは無関係なメールを送信していたことについての経緯と詳細について示せ。

**答** 当該事業者はユーチューバーが作成した動画を多くの人に見てほしいという考えから、「泉大津市長選挙候補者、南出賢一氏応援動画について」という件名でメールを送信した。

**問** 当該事業者に対しての処分内容と今後、市として業務委託を行う可能性について示せ。

**答** 当該事業者に対して、令和7年3月18日から6月17日の3か月間、泉大津市入札参加有資格業者の指名停止措置を行った。指名停止期間満了後は、当該事業者が委託業務を請け負うことは可能である。

**意見** この会社との関係は続けてはならない。指名停止期間が終わっても、業務委託はするべきではないと考える。



**池辺 貢三**  
(泉大津創志会)



## 働きやすく魅力ある職場づくりへ

**問** 職員の早期退職は、組織運営や市民サービスに与える影響も大きく、放置できない問題である。これまでに実施してきた取り組みを示せ。

**答** 職員の早期退職は組織の損失であり、重要な課題であると認識する。仕事と家庭の両立支援の側面、健康管理や福利厚生側の側面、業務負担軽減の側面の観点から職場環境の改善に努めている。

**問** 中途退職者の人数と年齢構成について示せ。

**答** 令和6年度が20人、うち20代が5人、30代が9人、40代が5人、50代が1人である。

**問** 退職者を防ぐには、ワークライフバランス推進策が有効な手段の1つであると考えている。フレックスタイム制度の導入について見解を示せ。

**答** 働きやすい職場環境の整備は、個々の能力を最大限に引き出すとともに、職務に対するモチベーションの維持にもつながるため重要であり、

引き続き情報収集に努め研究する。

**問** 市役所の開庁時間の短縮について、行政のデジタル化やコンビニ交付等の利便性向上施策が進み一定の対応は可能と考えるが、市の見解を示せ。

**答** 業務改革のさらなる推進や、勤務制度などの職員の働き方の見直し、また、これらを踏まえたうえでの市民の理解の促進などが必要である。

**要望** すべての職員が安心してやりがいを持って働ける環境を整えることが、結果的に市民サービスの質の向上と市役所全体の持続可能性につながる。人材確保、離職防止、職員の意欲向上のための先進的な制度設計を進めることを要望する。

**問** これまでカスタマーハラスメントから職員を守るため国・府に準じて取り組んでいるが、地域性に通じた独自のガイドラインが必要ではないかと考える。策定について見解を示せ。

**答** 意義があるものと考え、先進事例などの情報収集に努め、ガイドライン策定に向け研究する。

**要望** すべての職員が誇りを持って働き続けられるよう組織として職員を守る責任を果たすべく、積極的かつ実効的なガイドライン策定を要望する。

な本市の支援拠点について示せ。

**答(市民生活部長)** 「ハローワーク泉大津」内のマザーズコーナーでは、授乳室やおむつ交換台も完備し、子ども連れでも安心して相談できるよう配慮されている。昨年度の実績は、利用者1,110人のうち282人が実際に就職に結びつき、就職率は約25%。過去5年間はこの傾向で安定している。

**問** 子どもや家庭を大切にしながら「母として女性として輝いて働きたい！」がテーマの起業支援を通じて、子育てをしながら「理想の働き方」の実現を専門家および仲間と一緒に取り組む西東京市の「ハンサムママプロジェクト」は、市内で開業することで、子育て世帯向けの店が増加し、子育て世帯が暮らしやすい街づくりが進み、人口増加にも寄与している。この取り組みの見解を示せ。

**答** 本市が今後施策を進めるうえで、地域全体で応援し、挑戦に見える化する具体的な仕組みづくりなど、参考になる点が多いと考えている。

**要望** 子育て世代の女性が、自分らしく活躍できる環境づくりの一環として、このような起業支援策の導入を前向きに検討することを要望する。



**岡本 笑明**  
(大阪維新の会)



## 「子育てママのキャリアを生かした起業支援による少子化対策」について

**問** 近年、さまざまな理由で出産や子育てをためらう女性が増え、少子化が一層深刻化している。第一子出産後、保育所の利用環境、急な子どもの体調不良への対応、時間や場所に制限のある働き方、さらにはブランクによる自信のなさなど「働きたくても働けない」と感じる女性は約4割に上る。本市において、こうした「働きたくても働けない」子育て中の女性が抱える課題や要因について、どのように捉えているか見解を示せ。

**答(健康こども部長)** 待機児童の問題、共働き家庭への子育て支援策の周知、職場における仕事と育児の両立に対する理解、出産後も仕事が続けられる環境整備などが挙げられる。

**問** 子育て中の女性も安心して職業相談・紹介を受けられる制度「マザーズハローワーク」のよう

丸谷正八郎  
(市民クラブ)

## 「農業を通じた連携による持続可能なまちづくり」の推進について

**問** 今、市民が一番関心があるのは、本市が米を5kg、3,500円程度(送料別)で販売することである。本市ホームページやLINE等で市長も発信しているため、関心が本当に高まっていると感じる。米の販売に至った経緯と具体的な取り組み内容および今後のスケジュールについて示せ。

**答** 2025年も米不足となる可能性が高いと予測し、本市では、以前から包括連携協定を提携している東洋ライス株式会社と2025年1月に「非常事態下における市民への金芽米の供給に関する覚書」を新たに締結した。今回は北海道旭川市からの原料玄米50トンを確認しており、現在の米価格高騰の状況を非常事態とみなし、市民生活の安定を図る公共的な目的の下、同社により金芽米の特別販売を実施することとした。オンライン販売

では、1世帯当たり5kgまたは10kg単位で、5kg当たり税込み3,500円程度、送料1,000円での販売を予定している。7月中旬から下旬にかけて受け付けを行い、8月下旬頃から順次自宅へ配送する。また、オンラインでの申請が難しい人にも配慮し、9月には対面での直接販売も実施予定であり、こちらは5kg当たり3,500円程度で販売する見込みである。

**問** オンライン販売で、5kg購入した場合は、5kg当たり税込み3,500円程度、送料が1,000円かかるので4,500円となる。もう少し金額の圧縮ができないか。

**答(市長)** 送料については、自治会等に協力を求め、まとめて購入して1か所に送るなど圧縮できる方法がないか現場で検討している。特に新米が出る前に届けられるように進めていきたい。

今後については、連携自治体との関係強化、信頼関係強化で、お互いが共存・共生できる関係をつくり、お互い食いつばぐれのない状況にすることが市民の安心感につながると考えている。

堀口 陽一  
(大阪維新の会)

## 泉大津市未来の担い手づくりについて

**問** 子どもを中心にした各部局の取り組みについて、各計画における基本的な考え方を示せ。

**答(健康こども部長)** 第三期いずみおおつ子ども未来プランの基本理念に「“こどもまんなか”のまち」を加え、成長過程を通じた切れ目のない支援や官民連携・市民共創によるこども・若者の育成を基本に部局横断的に取り組んでいる。

**答(教育委員会事務局長)** 第2次泉大津市教育振興基本計画では、「志をもって、他の援助や支配を受けず、自分の力で判断し身を立てる『自立』、自分自身で立てた規範に従って行動できる『自律』、これらの力を身につけ地域や社会に貢献できる人」を本市で育みたい人物像に掲げている。

**問** 成長過程を通じた切れ目のない事業や自立・自律する力を身につけるための取り組みを示せ。

**答** 妊娠期、出産・乳幼児期の健やかな成長支援、

思春期から大人になる段階の心身の健やかな成長保障など年齢区分により途切れることなく成長過程を通じた切れ目のない支援を行っている。具体的にはヤングケアラー支援が挙げられる。

**答** 本市の給食事業では、児童・生徒の体にとってより良い食材を取り入れ、体にとってリスクがあると考えられる食材は使用しないことで、児童・生徒の健康づくりに努めている。また、児童・生徒の健康づくりとその目的、ねらいを児童・生徒にも周知することで、給食以外のふだんの食生活の中でも、自分の健康のために何を摂取すべきか摂取すべきでないのかを児童・生徒が自ら考え、選択、判断できる力の育成に取り組んでいる。

**要望** 食は、私たちの体をつくる重要な要素。食を食べることは、健康的な体をつくること、さらに人とのコミュニケーション形成による楽しさや充実感が心や知能を育てる。引き続き、教育委員会と共に全庁的な取り組みとして注力をお願いする。



◎その他の質問

・こども、若者に対する金融リテラシーについて



**森下 巖**  
(日本共産党)



## 熱中症から市民を守る取り組み

**問(議員)** クーリングシェルターの設置状況は。

**答(市民生活部長)** クーリングシェルターは、適切な冷房設備と滞在スペースを備え、誰もが暑さをしのげるスペースとして位置づけられ、本市では、熱中症特別警戒情報が発表された際に、自由に立ち寄り涼を取れるように、市役所、総合体育館、市立図書館、北公民館、保健センターを指定。

また、大阪府が暑さをしのげる身近な場所として実施するクールオアシスは、スーパーやドラッグストア、コンビニなど市内24か所ある。

**問** 両方とも名称も分かりづらく知られていない。より日頃から活用してもらえるための市の考えは。

**答** 取り組みを知ってもらい、市民が暑さから身を守る選択肢として、身近に感じ、自然に活用してもらえるよう広報を工夫し、情報発信する。

**要望** 東京都世田谷区では、公共施設や商店、薬

局、福祉施設等270か所で休憩と水分補給ができる取り組みが喜ばれている。本市でもいつでも誰でも利用でき暑さをしのげる場所となるよう願う。

**問** エアコン買い換えに活用できる省エネ家電製品買換促進助成金は、昨年度は7月29日で受け付けが終了したが、今年度の見通しは。

**答** 予算を昨年度の1.5倍に増額したが、6月10日時点で、昨年度の約1.8倍のペースで申し込みがあり、昨年度より早く終了する可能性がある。

**要望** 夏場にエアコンが故障しても活用できるよう補正予算の対応を要望する。また、現在の2万円の助成では、環境性能の良いエアコンへの買い換えは進まない。全国的にも高齢者世帯や非課税世帯への助成が広がってきており、本市でも福祉的意味合いも持たせて、助成額を引き上げるよう要望する。



また、東京都や大阪市は夏場の水道基本料金を無償化し、エアコンの使用を促している。物価高騰対策としても、本市での実施を求める。

### ◎その他の質問

・旭小学校なかよし学級の過密過大問題について

今年5月に視察した東京の公園では、障がいの有無にかかわらず、すべての人が楽しめるインクルーシブ遊具が設置されていた。本市でもそのような考え方を取り入れてほしい。

また、新たな憩いの場として、歩道でのベンチの設置を提案する。国土交通省発出の道路の移動等円滑化に関するガイドラインで「歩道等に適当な間隔でベンチおよびその上屋を設けるものとする」とある。毎年、夏の暑さは厳しく、高齢者や障がい者にとっては、同じ距離でも移動にかかる時間は全く違うことを踏まえ、健康遊具とともに検討を要望する。



**問** 公園を憩いの場とする中で、トイレの問題も抜きにして考えられないが、本市の公園のトイレの設置数と多目的トイレの設置状況について示せ。

**答** 9つの公園に10か所あり、そのうち多目的トイレが併設されている公園は4か所である。

**要望** 公園内のトイレは、防犯面の理由からイベントの開催時などを除き施錠されているものもあるが、地域の人への協力を求めるなど日中利用できる方法を模索してほしい。



**野田 悦子**  
(市民未来の会)



## 市民の憩いの場としての公園等について

**問** 2019年に策定された泉大津市公園整備マスタープラン策定時より、公園が3か所増え、1か所減っているが、減った理由を示せ。

**答** 減った理由としては、借地公園の土地の返還請求があったためである。

**問** 本市内で健康に資する遊具が設置されている場所を公園以外も含め示せ。



**答** 比較的大きな公園に健康遊具と呼ばれる遊具やうんていのように子ども用の遊びとしても使用できる遊具などを設置。また、昨年度の小規模公園のリニューアルで健康に資する遊具を設置した。公園以外では、幼稚園や小学校等を除き、道路や公共施設に設置しているような例はない。

**要望** 設置中の遊具には、点検後使用禁止期間が長いものもあり、更新のための予算をお願いする。

井上 信久  
(市民未来の会)

## 大阪・関西万博の「子ども招待事業」について

**問** 大阪府が主導する子ども招待事業について、本市内の公立小・中学校の大阪・関西万博への学校別、学年別の参加状況を示せ。

**答** 本市内の公立小・中学校 11 校中、7 校が学校行事として参加している。内訳については、中学校は 1 校において第 2 学年の参加、小学校は 2 校において第 6 学年の参加、3 校において、第 5・6 学年の参加、1 校において第 4・5・6 学年の参加と把握している。なお、小・中学校 5 校については実施済みで、小学校 2 校については 6 月下旬から 7 月上旬にかけての実施となる。

**問** いろいろ言われた中で始まった大阪・関西万博への子ども招待事業であるが、学校側の事前の計画と準備、当日の付き添いには感謝する。

次に、大阪府が主導する子ども招待事業の参加

可否および対象学年の決定は誰が行うのか。また、参加しない学校、学年の子どもたちは、どのような形で子ども招待事業を受けるのか。配付券種も併せて示せ。

**答** 大阪府が主導する子ども招待事業の参加の判断および対象学年の決定については、校外学習における各学年の目的を鑑み、学校全体で検討したうえで、最終的な判断は学校長がする。学校行事として参加をしない学校や学年の児童・生徒、また参加をした学年であっても、欠席者に対しては、入場券のチケット ID が学校を通じて紙媒体で配付されている。配付券種については、開催期間内いつでも利用できる 1 日券である。

**意見・要望** 大阪府が主導するものと本市独自の子ども招待事業を活用すれば、子どもたちには 2 回万博に訪れる機会があることをしっかりと周知願う。子どもたちには、この貴重な機会を通して万博を最大限に楽しみ、多くの発見と希望を持ち帰ってもらいたい。子どもたちが安心して参加できるよう、しっかりとしたサポート体制の整備も併せて要望する。

黒川 俊明  
(大阪維新の会)

## シビックプライド醸成における「美しい街：泉大津」に向けた取り組みについて

**問** シビックプライドとは、都市に対する市民の誇りという意味であり、この意識を高めることは地域に対する愛着や当事者意識を育み、地域活性化やより良いまちづくりにつながると考えられている。このシビックプライドが高いと思える本市でさえ、残念なことに町なかではポイ捨てを多く見かけるが、本市のポイ捨てに対する取り組みについて示せ。

**答** ポイ捨てはごみの問題であると同時に、まちへの関心や意識の問題でもある。自分とは関係ないという無関心の積み重ねがまちの景観を損なわせる。本市では市民一人一人が、このまちは自分たちのものという意識を持ってもらえるように、参加型の清掃活動に取り組んでいる。

**問** ポイ捨てごみの中でも多いのはたばこの吸い殻であるが、路上喫煙防止条例の啓発活動をごみ全般のポイ捨てにも活用することを検討しているのか示せ。

**答** 令和 7 年 7 月 1 日施行の路上喫煙防止条例の啓発活動を契機に、視覚的・デジタル的・対面的な多様な接点を設け、市民の意識や行動変容を促す取り組みを進めている。こうした多角的なアプローチは、ごみ全般のポイ捨て対策にも有効であり、今後の取り組みの土台になるものと考えている。

特に、市民ボランティアである衛生委員会の地道な活動やごみ拾い SNS アプリ「ピリカ」を通じた日々の清掃の見える化は、どこにでもある当たり前のことではなく、本市が誇れる大切な価値である。

**要望** 条例や罰則などのルール化、喫煙者の権利も考えての場所を限定した喫煙所の設置、周知活動、啓発活動、これら 4 点を重層的に進める必要があると考える。先行事例を参考に「まちの美化推進」を進めてほしい。



## 議場見学



5月20日から6月5日の間で  
市内小学校の3年生が議場見学に  
来られました。

泉大津市議会では、議会基本条例に基づき、主権者教育の一環として、未来を担う子どもたちに、政治に対する関心を高め、政治に参加したいと思える土壌づくりのため、議場見学時に、議員による議会についての説明を行っています。

説明をよく聞き、たくさんの質問をしてくれました。下記の写真はそのときの様子です。



5月17日(土)

IZUMIOTSU WELL-BEING  
EXPO 2025 in 大阪・関西万博

市議会を代表し、大塚議長と村田副議長が出席しました。ヘルスケアパビリオンステージでは認知症予防ダンスショーなど多彩なプログラムで泉大津市の魅力をPRし、ギャラリーWESTではアートブランケットなどを展示・紹介し、多くの方が楽しまれていました。写真はそのときの様子です。





## 政務活動費の公表



←令和6年度  
政務活動費収支報告

泉大津市議会では、市議会に対する理解と信頼を深め、市議会のより一層の透明性を図るため、平成25年度分から収支報告書を、平成27年度分からは交付申請書や領収書等、政務活動費に関するすべての書類をホームページ上で公表しています。

### ●政務活動費とは？

地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、交付するものです。

### ●泉大津市の場合

支給対象：会派（所属議員が1人の場合を含む）  
支給額：議員一人当たり年額30万円まで  
交付方法：透明性の確保を図るため、必要のつと、領収書を添付した交付請求書の提出後、支給しています。

### ●政務活動費を充てることができる経費の範囲

政務活動費は、会派が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、要請、陳情、各種会議への参加等市政の課題および市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に充てることができます。



## 令和6年度政務活動費収支報告一覧表



（単位：円）

会派名	会派人数	支出額	内 訳						
			研究 研修費	旅費	広報 広聴費	資料費	通信費	備品 購入費	事務費
日本共産党	2人	447,446	13,380	19,220	394,190	14,806	0	0	5,850
市民未来の会※1	2人	64,997	5,340	3,040	3,300	28,567	0	24,750	0
野田 悦子※2	1人	104,074	9,380	80,570	0	5,914	0	0	8,210
井上 信久※3	1人	205	0	0	0	205	0	0	0
公明党	3人	334,552	0	0	4,950	28,439	1,897	196,999	102,267
大阪維新の会	4人	776,246	61,260	639,095	39,100	35,195	0	0	1,596
市民クラブ	2人	516,457	44,760	202,300	80,300	28,568	0	131,600	28,929
泉大津創志会※4	4→3人	587,844	59,350	197,440	4,950	59,872	0	227,698	38,534

※1 令和6年12月5日 野田議員と井上議員が会派結成

※2 令和6年4月1日から12月4日まで会派に属さない議員

※3 令和6年11月26日から12月4日まで会派に属さない議員

※4 令和6年11月25日 井上議員が会派脱退

# 第2回定例会で決めたこと

泉大津市市税条例の一部改正の件、

令和7年度泉大津市一般会計補正予算の件などの議案を審議しました。



本定例会では、令和6年度泉大津

市一般会計予算の繰越明許費に係る経費の繰越しの件などの報告案件3件、泉大津市市税条例の一部改正の件、令和7年度泉大津市一般会計補正予算の件などの議案12件、訪問介護の基本報酬引下げ見直しと介護報酬の引上げ再改定を求める意見書の件などの議会議案2件を審議しました。

## 主な議案内容

### 泉大津市営火葬場条例の一部改正の件

施設維持管理費の高騰および市民以外の火葬件数の増加傾向を踏まえ、市民の安定的な火葬場利用機会の確保を図るため、市民以外の使用料を引き上げるもので、審議の結果、全会一致で可決しました。



### 令和7年度泉大津市一般会計補正予算の件

一般会計の予算に625万1000円を追加し、総額378億3211万7000円とするもので、主な内容は、国の風疹第5定期予防接種の実施期間延長に伴う予防接種委託料153万1000円、総合体育館トップライトガラスの予防保全に係る補修工事費372万9000円の増額などで、審議の結果、全会一致で可決しました。



訪問介護の基本報酬引下げ見直しと介護報酬の引上げ再改定を求める意見書（要旨）

高齢者の在宅介護は、コロナ禍に続く物価高騰により介護事業所の運営は厳しい状況にある。また、介護

職員の処遇の改善は進んでおらず、人手不足に拍車がかかっている。そのような中で、2024年度の介護報酬改定により訪問介護の基本報酬が引き下げられた。

介護関係団体からの抗議や危惧する声が上がっている。低すぎる介護報酬のため職員の処遇改善を図ることが困難な実態があり、ヘルパーの人材不足が深刻になるなど多大な影響がある。また、特に自宅で生活をしている人を中心に訪問介護をしている事業所は厳しい状況にある。

このままでは、在宅介護を受けられない高齢者の「在宅放置」を招きかねない。身体介護、生活援助などの訪問介護は、要介護者の在宅での生活を支えるうえで欠かせないものである。介護利用者からは不安と抗議の声が広がっている。

よって、本市議会は、国会および政府に対し、訪問介護の基本報酬引き下げを見直し、介護労働者の大幅な処遇改善ができるよう介護報酬の引き上げを強く求める。

地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書（要旨）

① 地方公共団体の財政事情によることなく、地方消費者行政を安定的に推進するための恒久的な財源を措置すること。

② 消費生活相談員の安定的な確保と処遇改善に係る制度設計に必要な予算措置を講ずること。

③ 国が進める消費生活相談デジタル化に係る予算を国の責任で措置すること。



全会一致で右記2件の意見書を可決し、関係各大臣等に送付しました。

### 議会の動き

- 6月 6日 厚生文教委員会協議会
- 6月 9日 総務都市委員会協議会
- 6月16日 議会運営委員会
- 6月18日 本会議  
～19日（一般質問、議案審議）
- 6月26日 議会運営委員会
- 6月27日 本会議（議案審議）

第2回定例会での議決結果一覧



【条例の一部改正】

- 泉大津市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正の件・・・可決（全会一致）
- 泉大津市市税条例の一部改正の件・・・可決（全会一致）
- 泉大津市営火葬場条例の一部改正の件・・・可決（全会一致）
- 泉大津市水道事業給水条例の一部改正の件・・・可決（全会一致）
- 泉大津市立池上曽根弥生学習館条例の一部改正の件・・・可決（全会一致）
- 泉大津市池上曽根史跡公園条例の一部改正の件・・・可決（全会一致）

【予算】

- 令和7年度泉大津市一般会計補正予算の件・・・可決（全会一致）

【その他の議案】

- 虫取市営住宅長寿命化改良工事請負契約締結の件・・・可決（全会一致）
- 泉大津市立楠小学校校舎棟長寿命化改良外工事請負契約締結の件・・・可決（全会一致）
- 動産買入れの件（議案第52号）・・・可決（全会一致）
- 動産買入れの件（議案第53号）・・・可決（全会一致）
- 動産買入れの件（議案第54号）・・・可決（全会一致）

【報告】

- 令和6年度泉大津市一般会計予算の繰越明許費に係る経費の繰越しの件・・・報告
- 令和6年度泉大津市下水道事業会計予算の繰越しの件・・・報告
- 令和6年度泉大津市病院事業会計予算の継続費繰越計算書報告の件・・・報告



令和7年度から **ON AIR** 一般質問をラジオで生放送!!

泉大津市議会本会議で行われる各議員の一般質問をFM いずみおおつで生放送しています。（市議会ホームページ内でも配信しています。）

次回：9/10（水）・9/11（木）午前10時予定